

かすかべ KASUKABE 議会だより

2020(令和2)年8月1日発行
発行・埼玉県春日部市議会
編集・広報広聴委員会
<http://www.kasukabe-shigikai.jp/>

第60号



古利根公園橋

(新型コロナウイルス感染症の治療に尽力する医療関係者に感謝の気持ちを込めて、夜間ブルーにライトアップしています。)



令和2年7月1日現在
人口 233,954
男 116,183
女 117,771
世帯数 107,893

アジサイ

主な内容

- 主な議案の紹介
および審議結果 2～5 ページ
- 議会人事 6～8 ページ
- 一般質問 9～15 ページ
- 閉会中の委員会活動 16 ページ

令和2年度春日部市一般会計 補正予算(第3号・第4号・第5号)を可決

春日部市議会政務活動費の交付の特例に関する

条例の制定を全会一致で可決

春日部市議会会議規則の一部改正を全会一致で可決

令和2年度 一般会計補正予算 (第3号)を可決

令和2年度一般会計補正予

算(第3号)は、歳入歳出の総額にそれぞれ11億7917万3000円を追加し、歳入歳出とも1005億7896万4000円とするものです。

歳出の補正内容について、議会議務561万2000円の減は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、議会からの要請により減額するもので、緊急経済対策の一部に充てていきます。

備蓄備品等整備事業2890万3000円の増は、避難所における新型コロナウイルスの集団感染防止を図るため、問仕切りなどの資材を購入するものです。

児童扶養手当受給世帯臨時

支援金支給事業6690万4000円の増は、児童扶養手当受給世帯を支援するため、児童1人当たり3万円を支給するものです。

環境衛生事業4億3422万円の増は、市民生活や事業活動を支援するため、全ての水道利用者の水道の基本料金4カ月分を減額する水道事業会計に対して、補助金を支出するものです。

ビジネスサポート応援給付金支給事業5億133万2000円の増は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けた市内の中小企業・小規模事業者および個人事業者を支援するため、給付金を支給するものです。

準要保護就学援助臨時支援金支給事業4081万5000円の増は、準要保護認定者を支援するため、児童生徒1

人当たり3万円を支給するものです。

図書館運営事業2999万9000円の増は、新型コロナウイルスの感染拡大に対し、在宅時間の充実を図るため、図書館の図書および電子書籍を購入するものです。

歳入の補正内容について、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金6億794万円の増は、「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」に基づく国の補正予算による交付金で、ビジネスサポート応援給付金支給事業、外11事業に対し、交付金が交付されるものです。

財政調整基金繰入金5億4751万9000円の増は、今回の補正予算における収支を調整するものです。

【全会一致で原案可決】

令和2年度 一般会計補正予算 (第4号)を可決

令和2年度一般会計補正予

算(第4号)は、歳入歳出の総額にそれぞれ5億4278万8000円を追加し、歳入歳出とも1011億2175万2000円とするものです。

歳出の主な補正内容について、本庁舎整備事業5295万円の増は、旧市立病院解体工事において、再利用できないコンクリート廃材の処分および再生砕石による整地工事等を行うため、増額するものです。

介護保険特別会計繰出金1億30万8000円の増は、低所得者の介護保険料軽減強化の完全実施を図るため、増額するものです。

小学校情報教育推進事業2億4926万円の増および中学校情報教育推進事業1億3596万円の増は、校内通信ネットワーク環境施設を整備するため、増額するものです。

歳入の主な補正内容について、民生費国庫負担金および民生費県負担金の低所得者保険料軽減負担金7523万1000円の増は、低所得者の

介護保険料軽減強化の完全実施に対し、負担金が交付されるものです。

教育費国庫補助金の公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金1億9261万円の増は、校内通信ネットワークを整備することに対し、補助金が交付されるものです。

財政調整基金繰入金3054万7000円の増は、今回の補正予算における収支を調整するものです。

【全会一致で原案可決】

議員提出議案

議会政務活動費の交付の特例に関する 条例の制定

新型コロナウイルスの感染拡大により、日常生活や事業活動に深刻な影響を受け、住民生活や地域経済などへの積極的な支援が強く求められており、市執行部における新型コロナウイルス感染症対策の推進に資する目的から、会派に対する政務活動費を減額するため、春日部市議会政務活動費の交付の特例に関する条例を制定するものです。

減額する内容は、令和2年7月から令和3年3月までの

政務活動費および常任委員会等行政視察費を削減し、医療や経済的に困っている事業者の支援などに充てるよう、市長へ要請する様子（令和2年5月18日撮影。写真右から海老原前副議長、金子前議長）



9カ月間、議員1人当たり月額5万円を月額1万7500円とするものです。
なお、執行部においては、本条例の趣旨をご理解いただき、議会費の減額分について、新型コロナウイルス感染症対策に有効に活用するよう申し入れました。
【全会一致で原案可決】

議員提出議案

議会会議規則の
一部改正

共働き世帯の増加や高齢化の進展により、女性だけでなく男性も育児や介護が求められるほか、働き方の多様化が進む中で、ワークライフバランスの推進が求められています。このような社会情勢を背景に、市議会においても、会議や委員会の欠席理由をより明確にするため、春日部市議会会議規則の一部を改正するものです。

規則の改正内容については、第2条第1項および第84条第1項「事故のため」を、「疾病・出産、育児、家族の看護又は介護、配偶者の出産補助その他の事故のため」に、「その理由」を、「その理由及び日数」に、それぞれ改めるものです。第2条第2項および第84条第2項は、それぞれ削除するものです。第119条第5項および第6項は、字句の修正をするものです。

附則については、この規則の施行期日を公布の日からとするものです。

【全会一致で原案可決】

第1回（5月）臨時会 審議結果

令和2年第1回（5月）臨時会が5月22日（金）に開催されました。

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議案名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	前 進 か す か べ 未 来 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	N H K か ら 国 民 を 守 る 党	無 所 属
議案第35号	専決処分の承認を求める（税条例の一部改正） (総務)	承認	○	○	○	○	○	○
議案第36号	専決処分の承認を求める（都市計画法税条例の一部改正） (総務)	承認	○	○	○	○	○	○
議案第37号	専決処分の承認を求める（国民健康保険税条例の一部改正） (厚生福祉)	承認	○	○	○	○	○	○
議案第38号	専決処分の承認を求める（小児救急夜間診療所条例の一部改正） (厚生福祉)	承認	○	○	○	○	○	○
議案第39号	専決処分の承認を求める（令和2年度一般会計補正予算 （第1号）） (総務・厚生福祉)	承認	○	○	○	○	○	○
議案第40号	専決処分の承認を求める（令和2年度一般会計補正予算 （第2号）） (厚生福祉)	承認	○	○	○	○	○	○
議案第41号	令和2年度一般会計補正予算（第3号） (総務・厚生福祉・教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第42号	令和2年度水道事業会計補正予算（第1号） (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○

議員提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議案名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	前 進 か す か べ 未 来 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	N H K か ら 国 民 を 守 る 党	無 所 属
議第2号議案	議会政務活動費の交付の特例に関する条例の制定 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○

6月定例会 審議結果

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議 案 名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	前 進 か す か へ 未 来 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	NHK から 国民 を守る 党	無 所 属
議案第 43 号	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 44 号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正 (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 45 号	税条例等の一部改正 (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 46 号	都市計画税条例の一部改正 (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 47 号	手数料条例の一部改正 (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 48 号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 49 号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 50 号	保育所条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 51 号	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 52 号	後期高齢者医療に関する条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 53 号	介護保険条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 54 号	国民健康保険条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 55 号	国民健康保険税条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 56 号	埼玉県市町村総合事務組合規約の変更 (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 57 号	令和2年度一般会計補正予算(第4号) (総務・厚生福祉・教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 58 号	令和2年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 59 号	令和2年度介護保険特別会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 60 号	市長等の給料の額の特例に関する条例の制定 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 61 号	監査委員の選任につき同意を求める〔金子 進氏〕 (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○

議員提出議案

(○:賛成 ×:反対 -:退席)

議案番号	議 案 名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	前 進 か す か へ 未 来 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	NHK から 国民 を守る 党	無 所 属
議第 3 号議案	議会会議規則の一部改正 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議第 4 号議案	医療機関の経営危機に対する財政支援を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	×	-
議第 5 号議案	保健所の増設と機能強化を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	○	○	×	-
議第 6 号議案	公立・公的病院の再編統合計画の撤回を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	○	×	○	×	-
議第 7 号議案	新型コロナウイルスの感染防止対策で落ち込む景気回復のために消費税を緊急に5%に引き下げる意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	○	×
議第 8 号議案	子どもたちの学び、心身のケア、安全を保障するために少人数学級の実施など、教育条件の改善を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	×	×

第2回（7月）臨時会 審議結果

令和2年第2回（7月）臨時会が7月8日（水）に開催されました。

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議案名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	前 進 か す か へ 未 来 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	民 進 党 N H K か ら 民 を 守 る 党	無 所 属
議案第62号	旧市立病院解体工事請負契約の議決内容の一部変更 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第63号	財産の取得（春日部消防署豊野分署災害対応特殊救急自動車及び高度救命処置用資機材） (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第64号	令和2年度一般会計補正予算（第5号） (各委員会)	原案可決	○	○	○	○	○	○

令和2年度 一般会計補正予算 （第5号）を可決

令和2年度一般会計補正予算（第5号）は、歳入歳出の総額にそれぞれ25億3082万5000円を追加し、歳入歳出とも1036億5257万7000円とするものです。歳出の主な補正内容について、生活困窮者自立支援事業1億1414万1000円の増は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響に伴い、住居確保給付金の申請者が増加していることから、増額するものです。敬老会開催事業6954万5000円の増は、敬老会中止に伴い、対象者へ記念品を贈呈するものです。ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業2億6124万6000円は、ひとり親世帯を支援するため、給付金を支給するものです。新生児特別給付金支給事業9726万3000円は、令和2年4月28日以降に新生児が生まれた世帯を支援するため、新生児1人当たり10万円分の市内共通商品券を支給するものです。

ビジネスサポート応援給付金支給事業2億8545万4000円の増は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けた市内テナント事業者を支援するため、国の家賃支援給付金と併せて給付金を支給するものです。プレミアム付商品券発行事業4億7853万8000円は、市内事業所の応援および市内経済の活性化を図るため、プレミアム付商品券を発行するものです。公共交通運行継続支援金事業2300万円は、公共交通の維持を図るため、市内のバス事業者やタクシー事業者に対し、支援金を交付するものです。小学校情報教育推進事業6億1047万円の増および中学校情報教育推進事業3億928万5000円の増は、学校教育の情報化を推進するため、児童生徒一人一台の端末を整備するものです。歳入の主な補正内容について、生活困窮者支援事業費負担金9386万6000円の増は、生活困窮者自立支援事業に対して、交付されるものです。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金16億4545万7000円の増は、「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」に基づく国の補正予算による交付金で、プレミアム付商品券発行事業、外20事業に対し、交付されるものです。ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業費補助金2億5500万円は、ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業に対し、交付されるものです。小学校費補助金の公立学校情報機器整備費補助金3億1941万円および中学校費補助金の公立学校情報機器整備費補助金1億6231万5000円は、小学校および中学校情報教育推進事業に対し、交付されるものです。また、6月定例会にて可決された市長、副市長および教育長の給料等減額分233万3000円については、今回の新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている地域経済や市民生活を支援するための経費として、活用するものです。繰越明許費については、プレミアム付商品券発行事業1億7853万8000円について、繰越明許費を設定するものです。

【全会一致で原案可決】

新たな正・副議長決まる

6月定例会において、議長、副議長が辞職したことに伴い、選挙の結果、議長に佐藤議員、副議長に鈴木議員が選出されました。また、常任委員会委員等においても変更がありました。



市議会議長

佐藤 一

市民の皆さまにおかれましては、日ごろから市議会に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

このたび、6月定例会におきまして、議員各位のご推挙により、議長の大任を仰せつかりました。身に余る光栄とともに、その職責の重さに、身の引き締まる思いでございます。

春日部市の発展のために、市民福祉の向上・推進はもとより、市民の皆さまから信頼される議会運営を目指し、誠心誠意努めてまいります。

また、今般の新型コロナウイルス感染症の拡大防止に対する医療関係者の皆さまをはじめ多くの皆さまのご尽力および市民の皆さまのご協力に感謝申し上げますとともに、引き続き、感染拡大防止にご協力くださいますようお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

就任のあいさつ



市議会副議長

鈴木 一利

盛夏の候、市民の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

6月定例会におきまして、議員各位のご推挙をいただきまして、副議長に就任いたしました。今後は、議長を全力で支え、そして補佐をし、議会の公正かつ円滑な運営に誠心誠意努め、春日部市のさらなる発展のために努力してまいりますので、市民の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、「新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、市民の皆さまには、「新しい生活様式」の実践で感染拡大防止に努めていただきますようお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

全国市議会議長会表彰

令和2年5月27日に書面開催された第96回全国市議会議長会定期総会において、次の方々が表彰されました。

また、6月定例会の会期中に、表彰状ならびに記念品の伝達が行われました。
































表彰【在職10年】

- 井上 英治 議員
- 大野とし子 議員
- 佐藤 一 議員
- 今尾 安徳 議員
- 金子 進 議員
- 栄 寛美 議員



委員会の構成

(令和2年7月1日現在)

名称		氏名 (◎は委員長、○は副委員長)			
常 任 委 員 会	総務委員会	 ◎水沼日出夫	 ○古沢 耕作	 坂巻 勝則	 卯月 武彦
		 滝澤 英明	 吉田 稔	 山崎 進	 栗原 信司
		市長公室・総合政策部・財務部・総務部・市民生活部・会計課・消防本部及び消防署。選挙管理委員会及び監査委員の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項を審査します。			
	厚生福祉委員会	 ◎石川 友和	 ○永田 飛鳳	 大野とし子	 並木 敏恵
		 鬼丸 裕史	 荒木 洋美	 岩谷 一弘	
	福祉部・こども未来部・健康保険部並びに市立医療センター及び看護専門学校の所管に属する事項を審査します。				
	建設委員会	 ◎海老原光男	 ○榛野 博	 酒谷 和秀	 佐藤 一
		 今尾 安徳	 鈴木 一利	 栄 寛美	 武 幹也
		建設部・都市整備部及び水道部の所管に属する事項を審査します。			
	教育環境委員会	 ◎木村 圭一	 ○松本 浩一	 井上 英治	 金子 進
		 山口 剛一	 河井 美久	 小久保博史	 中川 朗
		環境経済部・教育委員会及び農業委員会の所管に属する事項を審査します。			

委員会の構成

(令和2年7月1日現在)

名称	氏名 (◎は委員長、○は副委員長)			
議会運営委員会委員	◎滝澤 英明 水沼日出夫	○栗原 信司 松本 浩一	卯月 武彦 栄 寛美	石川 友和 小久保博史
議会改革検討特別委員会委員	◎山崎 進 坂巻 勝則 武 幹也	○栄 寛美 卯月 武彦 栗原 信司	酒谷 和秀 鬼丸 裕史	榛野 博 吉田 稔
広報広聴委員会委員	◎古沢 耕作 水沼日出夫	○坂巻 勝則 今尾 安德	酒谷 和秀 永田 飛鳳	榛野 博 木村 圭一
図書室運営委員会委員	◎古沢 耕作 水沼日出夫	○坂巻 勝則 今尾 安德	酒谷 和秀 永田 飛鳳	榛野 博 木村 圭一

議会選出各種議会議員・委員会等委員

(令和2年7月1日現在)

名称	氏名			
埼葛斎場組合議会議員	榛野 博 荒木 洋美	今尾 安德 河井 美久	山口 剛一 海老原光男	
埼玉県都市競艇組合議会議員	佐藤 一			
利根川栗橋流域水防事務組合議会議員	水沼日出夫	岩谷 一弘		
江戸川水防事務組合議会議員	大野とし子	鬼丸 裕史	吉田 稔	(藤枝 哲也)※
監査委員	金子 進			
市立医療センター運営委員会委員	石川 友和 古沢 耕作	松本 浩一 河井 美久	並木 敏恵 栄 寛美	滝澤 英明 武 幹也
国民健康保険運営協議会委員	大野とし子 中川 朗	石川 友和	山崎 進	海老原光男
民生委員推薦会委員	永田 飛鳳	河井 美久		
都市計画審議会委員	今尾 安德	鬼丸 裕史	荒木 洋美	小久保博史
空家等対策協議会委員	山崎 進			

※ 議員以外から選出



一般質問

市民の声を市政に

(文責は、各質問者)

今定例会の一般質問は、新型コロナウイルス感染症対応のため、各会派の構成議員数に15分を乗じて得た時間を各会派の持ち時間とし、この時間内で、代表もしくは複数議員により、一般質問が行われました。

新政の会

榛野 博	石川 友和
水沼日出夫	佐藤 一
金子 進	鬼丸 裕史
滝澤 英明	山崎 進
河井 美久	

新型コロナウイルス感染症への対応について

新型コロナウイルスが猛威を振るい約6カ月、テレビ、新聞等の報道は新型コロナウイルスが中心で、収束が見えない今、国民は新型コロナウイルスの脅威におびえる生活が続いています。この状況の中、これまでの新型コロナウイルスへの対応、対策はどのようなしてきたのか伺います。

また、大規模な事業計画として、春日部駅を中心とした鉄道高架、北春日部の区画整理事業、赤沼地区の産業団地の整備、市庁舎の建て替え等があるが、新型コロナウイルスの影響は無いのか伺います。

さらに、新型コロナウイルスの影響で藤まつり、大風あげ祭り、夏まつり等、市主催のイベントが中止になったが、第2、第3波が懸念されている中、敬老会の開催は、どのように考えているのか。併せて、敬

老会が開催できない場合には、今年度に限り招待者全員に祝い金を贈って家庭でお祝いをしていたら、ご事業はいかがか。

○総合政策部長

これまで市では、市民の皆さまの健康、命が大切と考え、防災無線や安心安全メールを活用して感染予防を訴えるとともに、小中学校の臨時休校や、市が主催する各種イベントの中止、市立医療センターでの感染症患者の受け入れ強化や人工呼吸器の増設、小児救急夜間診療所に発熱外来の設置など対応してきました。

また、市内経済の回復や市民活動の再開に向けて、市独自の支援策を実施しているところですが、大規模事業については、大きな経済的効果が見込まれることから、厳しい財政状況においても財源確保に努め、推進していきます。

○福祉部長

今年度のイベントは、新型コロナウイルスの状況が踏まえ、開催の可能性も十分に検討した上で、段階的に開催の可否を判断してきました。敬老会についても、開催の可否を判断する段階に来ているものと考えています。

○市長

今年度の敬老会の開催は、難しい判断が求められますが、仮に開催できなかった場合においても、ご長寿に対して敬意を表するとともに、各ご家庭でのお祝いに繋がられるような方法を検討していきます。

新型コロナウイルス感染症への対応(医療支援等)について

「医療支援について」①医療センターは感染症指定医療機関ですが、新型コロナウイルスへの外来部門の対応と保健所の依頼により設置した帰国者・接触者外来の状況②市役所第2別館1階、小児救急夜間診療所に発熱外来を設置した経緯と状況(実績)③医療センターの入院体制や入院患者数などの状況④市内他の医療機関との連携の状況。

「災害対応について」⑤避難所で、感染症対策のために医療関係者を配置するのか。

「市長の認識について」⑥新型コロナウイルスへの現状の認識と今後の対応について伺います。

○病院事務部長

①3月23日より救急外来に専用の診察室を設置し、予約診療などで来院した患者の中に新型コロナウイルス感染者がいる可能性もあることから、動線を分

けるようにしたものです。帰国者・接触者外来は、5月末までの約3カ月間で136人が受診しました。③感染症病床2床のほか、緩和ケア病棟10床での受け入れも開始し、入院患者数は、5月末までの約3カ月間で43人です。④診療所や病院から、感染が強く疑われる患者は、保健所を通じて3月から5月までに33件の紹介をいただきました。

○健康保険部長

②感染が広がりを見せていたことから市医師会と実施に向けて協議を重ねてきました。5月1日から6月12日までに145人が受診し、全員がPCR検査を受けています。

○市長公室長

⑤全ての避難所に配置できる数の専門職がないため、常駐ではなく、巡回など、他の方法で対応していきます。

○市長

⑥市民の皆さまのかけがえない命を守ることを第一に感染拡大防止に全力で取り組んできました。現在も予断を許さない状況にあり、第2、第3波への備えをしつかりと行い、感染拡大防止と社会経済活動を両立させていく必要があると考えています。今後は、

新しい生活様式への対応を図るとともに、引き続き市民の皆さまの健康で安心安全な生活を守るため、さまざまな対策を確実に実行していきます。

児童・生徒を最優先に考えた学校運営を目指して

4月7日に国から緊急事態宣言が発令されたにもかかわらず、始業式、入学式を行わず、始業式、入学式を行つた事に対して、多くのご意見が寄せられました。この始業式、入学式を強行した理由について伺います。また、中止になった「節目」の行事に対しての代替について、どのように考えているのか伺います。

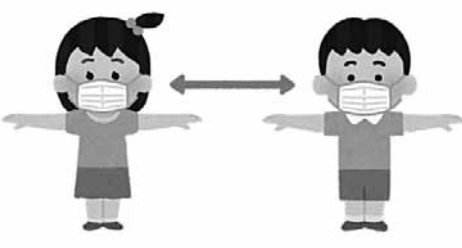
さらに、熱中症になる可能性が高い場合にはマスクを外しての登下校が可能になりました。地域の皆さんはこの事実を知らない方もいます。可能であれば教育委員会より安心安全メールやSNS等を使って地域の皆さんにもその事実を伝え、地域の皆さんで子供たちを応援できたらと思います。そして、今後の学校運営をどのように進めていく予定なのか伺います。

○学務指導担当部長
始業式、入学式は、子供も保護者も、学校生活の中で大

きな節目になる行事で、長期休校が予想されたことから、子供たちと先生方との顔が見える関係を築き、安心感を与え、その後の電話連絡や一時預かりを行いやすいよう実施の判断をしました。

代替行事については、子供たちが目標を持って学校生活を送ることができるよう各校が工夫し、年間の教育計画の中でバランスも考慮して判断することが望ましいと考えています。

今後は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に配慮しつつ、学びの保障をはじめとした授業の充実をもとより、行事や部活動等の活動を通して、子供たちが目標を持って、生き生きと活動できるように学校運営に取り組んでいきます。



ソーシャルディスタンスをとる子どもたち(イメージ)

春日部市の公共交通について

長引くコロナ禍の下、春バスを含む各交通機関では、緊急事態宣言が解除された後も、利用者数や収益の先行きが見通せない厳しい状況が続いています。

今後、本市の公共交通を持続可能なものとしていくためには、感染防止対策に併せて、交通事業者への支援を含めた地域公共交通計画の策定が重要になると考えます。そこで、以下伺います。

①今後の地域公共交通網形成計画について②現在の本市の公共交通の課題と具体的な取り組み③公共交通ネットワークの形成や結節機能の強化を目標す次期春バスの運行計画

○都市整備部長

①地域公共交通網形成計画は、今年度末で計画期間が終了することから、昨年度より、春日部市地域公共交通活性化協議会で協議を重ね、現在新たな計画の策定を進めており、持続可能な公共交通ネットワークの形成を図っていきます。

②新たな「地域公共交通計画」の策定に向け、昨年度に市民5000人を対象としたアン

ケート調査を実施し、5つの課題を抽出しました。これらの課題に対して、それぞれに対応の方向性を定め、取り組んでいきます。取り組みについては、基本方針と具体的な目標を定め、大きく4つに分けた施策を実施していきます。

③第四次春バス運行計画では、市役所新本庁舎等、新たな施設への乗り入れを行うとともに、交通結節点での乗り継ぎを強化し、より利便性の高い路線、ダイヤ編成を行い、具体的な路線や運行形式を含んだ運行計画の策定に取り組んでいきます。



朝日バスと春バスが連結するウイングハットバス停

前進かすかべ。 未来の会

永田 飛鳳 吉田 稔
山口 剛一 古沢 耕作
海老原光男 栄 寛美
岩谷 一弘 小久保博史

春日部市の新型コロナウイルス感染症対策について(対策本部など)

①新型コロナウイルス対策本部に関連して、対策本部の人選、専門的な見地はどのように取り入れたのか。他市に比べ対応の遅さを指摘されるが、どのような考えで対応にあたったのか。市長の顔が見えないとの指摘があり、市内の現状をどのように把握されたのか。

以上について、対策本部(本部長)がどのように考え、対応したのか伺います。
②会派として、財政調整基金の積極的な活用、市役所本庁舎の建設など大型事業の見直し・一時凍結、今年度中止となる市主催事業・イベント等の不用額を当面の市内経済を立て直しへ財源を振り替える、こうした提言をしてきました。本庁舎建て替え・児童館など、事業ごとにどう対応するのか、市主催イベントの不用額はどの程度見込んでいるか。どれ

ほどの財源をコロナ対策に充てるのが可能なのか、財源に関する市の考えを伺います。

○市長

①対策本部は、私を本部長とし、部長級以上の職員を本部長としており、医療の専門職員である病院事業管理者から意見をいただいているほか、市医師会長にもご助言をいただき、情報を共有しています。まずは市民の皆さまの命を守ることを第一として取り組み、感染が落ち着き始めてからは、市民・事業者の皆さまのご意見や、議員、各種団体等からの要望も踏まえ、総額約254億円の各種支援策にスピード感を持って取り組んでいるところでです。

今後、議員の皆さまの支援、協力をいただきながら、さまざまな対策に迅速かつ全力で取り組んでいきます。

○財務部長

②今後の財政運営は厳しい中、本庁舎整備などの大規模事業を推進することで、低迷する市内経済の早期活性化につながるものと考えており、関係部局と緊密に連携を図り、財源確保に努めながら、進めていきます。不用額は、市内経済の早期活性化と市民活動の

再開に向けた緊急対策事業への財源として活用を検討しています。引き続き、国・県の動向を見極め、市民の安心安全を最優先に取り組み、財政の健全性を損なうことのないよう取り組んでいきます。

春日部市の新型コロナウイルス感染症対策について(給付金など)

①国による一人10万円の「特別定額給付金」について、市民の中には、生活資金や支払いなどのため一刻も早く受け取りたいとの悲痛な声がありました。会派として、通常1カ月以上かかるところを、本当に困っている市民に対して、早期給付(立替払い)を可能にした、相談窓口を期間限定で設置するよう提言しました。市の対応はどうであったのか伺います。

②新型コロナウイルスによる社会的な影響で、企業の内定取消しや失業した方々を救済するため、職員、また臨時職員を自治体が採用する動きが全国に広がっています。これまで本市では、残業代未払い問題が発生しており、職員数の不足が各部署、各職員に負担となり残業時間が増加した一因と考えます。コロナ対策や市民福祉

向上に力を注ぐために、このタイミングで職員を増員する方向にシフトすべきと考えるが市の考えを伺います。

○市民生活部長

①市としては、申請世帯全体への給付を正確に可能な限り早期に達成することを目的に検討を進めてきました。立替払いなどによる早期給付に対応した相談窓口開設など新たな取組を実施することは、オンライン申請による事務の混乱と同様にダウンロードした申請書に書き添えることにより、申請内容等の不備誤りなどが想定され、申請世帯全体への給付に時間がかかるところとなるため、採用を見送ったところです。今後も、給付金の給付振込事務を正確に、迅速に進めていきます。

②市では雇用対策としての限定的な募集は行っていませんが、今後新型コロナウイルス対策等に対応するため、必要に応じ、会計年度任用職員の採用も検討していきます。その際、職員採用に関する情報を企業の内定を取り消された方や職を失った方などにも届くよう発信していきます。職員の増員は、職員定員管理計画に基づ

き職員採用を行うとともに、事務量の調査や各部長とのヒアリングなどを実施し、適正な職員配置に努めるとともに、適材適所の人事配置や人材育成などを行い、事務事業の適正な執行、市民サービスの向上を図っています。なお、現在計画を前倒しで見直ししており、改定の内容を見直しして適切な職員数の確保に努めていきます。

春日部市の新型コロナウイルス感染症対策について(経済対策など)

①新型コロナウイルスによる市内経済への影響は今後も長く続くことが予想されます。事業者への市独自支援として、給付金や補助金、家賃補助などの手当てが必要と考えます。補正予算を組み、第2弾・第3弾の支援策は実施しないのか、市の考えを伺います。

②市内事業者、とりわけ飲食店においては、いち早く影響を受け、非常に厳しい状況に長く置かれています。今後「Go To Eatキャンペーン」など国の支援策の活用も有効です。

市は、影響の著しい飲食店への支援をどのように考えて

いるのか伺います。

③新型コロナ感染拡大に伴い、現場で対応にあたられた医師、看護師をはじめ医療関係スタッフに感謝を申し上げます。

緊急事態宣言が解除されましたが、今後の第2波の可能性を考えると予断を許さない状況です。そこで、発熱外来はいつまで設置しているのか伺います。

○環境経済部長

①市独自の支援策として春日部市ビジネスサポート応援給付金を実施していますが、加えて、より効果的な追加支援策を実施していく必要があると認識し、国、県の追加支援策等の動向を注視して方向性を見定めたいと考えています。

②#春日部コロナアクションや生活応援メニュー開発奨励金等により、現在支援を実施しています。また、プレミアム付食事券についても有効であると捉えています。今後は事業者の皆さまとともに、コロナ後の新しい飲食店等のあり方を模索し、それを支援できる事業なども踏まえ、一番大切なのはお店に足を運んでいただく施策を検討していくことであると考えています。

○病院事務部長

③発熱外来については、6月までは継続して実施し、その時点での患者数により患者動線、診察エリアについて再度検討したいと考えています。

春日部市の新型コロナウイルス感染症対策について(学校運営)

①休校が続いたことによる授業時間への影響があります。どのような方針で授業時間を確保するのか伺います。

②学校再開後も児童生徒の家庭環境が変化し、保護者の失業で経済的、精神的に不安定な状況に置かれることも想定されます。虐待等の家庭の問題、また、過密な授業日程をこなす中でのストレス、いじめの増加などが懸念されます。緊急措置として、子どもたちの心に寄り添う、相談体制の強化を図るべきであるが、市の考えを伺います。

③学校休校が長引き、給食が実施されないなど、子育て世帯の出費は拡大しています。そこで、子育て世帯の支援策として、すべての児童生徒を対象に、一定期間の時間的・金銭的負担を軽減する「給食費無償化」を実施すべ

きだが、市の考えを伺います。

○学務指導担当部長

①授業時数の確保が最優先と

考え、行事等の見直し、検討を進めるとともに、土曜授業、夏季休業中の授業日を設定することとしました。また、学習内容をしっかりと身につけさせるために、各学校が教育計画を再編成し、効率的、効果的な学習のあり方を検討しているところ です。

②現在、スクールカウンセラーやさわやか相談員、地域教育相談員といった心の専門家を活用し、登校してきた子どもたちがいつでも相談できるような体制を整えています。今後も校内での相談体制だけでなく、教育相談センターをはじめとする校外の関係機関の相談機能も生かし、子どもたちの心のケアに努めます。

③本市では児童1人当たり3万円支給する必要保護就学援助臨時支援金の支給準備を進めています。また、家計が急変した家庭に対しても直近の収入状況を考慮し、就学援助の認定の可否を判断する対応を行っています。

全児童を対象とした一定期間の給食費無償化については、財源確保などの課題があるため、今後国の支援策等の動向を注視していきたいと考えています。

日本共産党

坂巻 勝則	卯月 武彦
大野とし子	松本 浩一
今尾 安徳	並木 敏恵

豊かな成長を保障するために、児童発達支援センターは市の直営で

先の3月議会で、就学前の障がい児に療育を行う児童発達支援センターふじ学園に指定管理者制度を導入できる条例が成立しました。療育は一人一人の特性に寄り添う地道な実践であり、人の力とともに時に経費が必要で、療育の分野に指定管理者制度を導入するなど言語道断です。市は導入の理由に民間活用による専門性の確保を挙げますが、県内施設では研修を充実し、専門性を育んでいます。直営で専門性は十分確保できると考えるが市の考えを伺います。また、心に寄り添う指導が求められますが、不適切な指導があっても直接人事に関われないのはデメリットだと思いが市の考えを伺います。

○福祉部長

高い専門性を持って入園児童の療育支援を進めていくためには、実績のある指定管理

者の導入が有効な手段と考えます。また、指定管理者制度を導入した場合、基本協定書に基づき継続監視を実施し、適切な支援を実施するよう指導していきます。

①児童虐待・DV防止の支援強化を
②遊びと生活を守る学童保育

①新型コロナ感染防止のため、外出自粛や在宅勤務、学校休業など、家族がそろって一日中家にいる状況が続く、児童虐待やDVが増加しているようだが、市の現状を伺います。また、緊急事態宣言で実態が把握しづらくなった児童虐待については、要保護児童対策地域協議会が週1回電話や訪問等で安全確認をすることや、SNS相談窓口が必要と思うが、市の対応を伺います。埼玉県は人口比で児童相談所の数が全国と比べて低く、増設を検討しています。さらに県内の人口20万人以上の市で児童相談所が設置されていないのは本市だけです。「春日部に児童相談所の設置を」という声を強く県に要請すべ

きと思うが、市長の考えを伺います。

②新型コロナ感染防止のため、学校が一斉休業となる中、厚

生労働省は学童保育を原則開所としました。密を避けるため、放課後児童クラブについては「児童1人につき畳1畳分、おおむね40人」という基準を見直す必要があると思うが、市の考えを伺います。

また、子どもの命や遊びを大切にするため、放課後児童クラブの指定管理者制度をやめ、根本的に見直すべきと思うが、市長の考えを伺います。

○**こども未来部長**
①今年3月から5月までの児童虐待の通告件数は98件で、前年同時期に比べ30件増加しています。

要保護児童対策地域協議会で見守り対象となつている児童や特定妊婦の状況を原則週1回以上、電話や訪問により確認しています。また、SNS相談窓口の開設については本市でも調査研究を行つていきたいと考えています。

②3密を避けるため事前に学校に協力を仰ぎ、必要スペースを確保して安全な保育の実施に努めています。基準の見直しは、今後国や県の動向を注視していきたいと思ひます。

○**市長**
①児童相談所の役割は大変重要であると考えています。設

置については機会を捉え、県に對し要望していきます。
②今後においても子どもたちの健全な育成を第一に考え、適切に放課後児童クラブを運営していきます。

**(1)子どもを守り育てる学校に
(2)少なすぎる職員を増やして、
市民に寄り添う体制を**

(1)緊急事態宣言が全面解除され、休校が続いていた学校も6月から再開しました。求められるのは一人一人を大切に

する教育です。
①マスク、消毒液、非接触体温計、ペーパータオルなど物品の確保はどうですか。
②「密集・密接」を避けるには、1教室何人が適当ですか。現在の1学級の人数はどうなつていますか。
③「密集・密接」を避けるために、今こそ少人数学級の実施が必要と考えますがどうですか。

④「席の間隔の確保、歌唱指導、体育などの身体接触、給食は前を向いて、遊具では遊ばないで」など機械的に注意ばかりしていたら信頼関係が失われます。柔軟な対応が必要と考えますがどうですか。

⑤学習の遅れを取り戻すために、忙しく窮屈な学校生活を

強いれば、負担が増え、かえって「感染リスク」を高める子ども・教職員の過度な負担とならないよう、これからの学校には、本場の「ゆとり」が必要と思ひますがどうですか。

⑥子どもの貧困が深刻になっています。就学援助を生活保護基準の1・3倍から1・5倍に戻すべきと思ひますがどうですか。また、教育長に基本的な考えを伺います。
⑦現在の職員数では、新型コロナナ感染防止対策や災害が重なることが極めて困難になります。職員数を大幅に増やしていくことが必要です。

⑦定員管理計画を、どのように見直ししているのですか。せめて、施行時特例市36市の平均数1135人にする必要がありすが、どうですか。

○**学校教育部長**
①学校ごとや教育委員会で一括購入し確保に努めています。
○**学務指導担当部長**
②おおむね20人以下が適当と示されています。小学校は、30人以上34人以下が一番多く137学級、中学校および義務教育学校後期課程は、35人以上が102学級です。

③少人数での学習は有効と考へています。少人数での学級編成は国の定数改善が必要で、国および県に引き続き要望することも必要と考えています。
④これまで以上に丁寧な見守りや声かけを行い、一人一人の心情に寄り添い、主体性を引き出しながら、心の成長につなげていきます。
⑤過度な負担とならないよう学校行事の取り組みや授業の進め方を工夫して教育活動に取り組んでいきます。
⑥現状を維持していきます。
○**教育長**
⑥児童・生徒の安全と安心に配慮しつつ、保護者や地域の皆さまと協力して、知徳体のバランスの取れた教育に取り組んでいきます。

○**総務部長**
⑦仕事と子育ての両立や長時間労働の是正など国の進める働き方改革に對応した計画にするよう検討しています。各課の状況を把握して適切な人事配置ができるようにします。

○**副市長**
⑦職員定員管理計画を見直し、職員定数を増やしていく新たな計画を策定していきます。本市の実情に即して適切な職員数の確保に努めていきます。

しかし、2019年12月に「日本小児科医学会」は、各自治体首長宛てに「子宮頸がんワクチン接種通知についてのお願い」として接種勧奨ではなく周知のための通知を実施

公明党

木村 圭一 鈴木 一利
荒木 洋美 武 幹也
栗原 信司 中川 朗

**子宮頸がん予防ワクチン
情報提供について**

子宮頸がんは女性の子宮の入り口付近にできるがんで、日本では毎年約1万人近くの女性が罹患し、約3000人が亡くなつており、大変深刻な状況となつています。国は、2010年度にHPVワクチンの公費助成を開始し、2013年4月から定期接種を受ける事ができるようになりました。ですが、ワクチン接種者から「健康被害報告」が相次いだことから、同年6月には接種の積極的な勧奨を中止

健康被害との因果関係が認められないため、定期接種ではあるものの個別通知などによる周知を取りやめるなどの対応が続いています。

しかし、2019年12月に「日本小児科医学会」は、各自治体首長宛てに「子宮頸がんワクチン接種通知についてのお願い」として接種勧奨ではなく周知のための通知を実施

なく周知のための通知を実施

し、対象者へ正確な情報を伝えるよう要望書を提出しています。正しい情報を知って接種の判断をしていただくためにも、少なくとも定期接種の最終学年である高校1年生には個別通知による確実な情報提供を実施する必要があると思いますがいかがでしょうか。

○健康保険部長
個別通知による情報提供の実施について、ワクチン接種後の症状として慢性疼痛や機能性身体症状など、重い症状が報告されており、また因果関係についても、明確な結論は得られていない状況です。

このような中、厚生労働省からの通知では、接種の積極的な勧奨とならないよう留意することとされています。

また、外国人の訪日客が激減し、全国の観光地での売上がほぼ皆無となり、苦慮しているとの報道がありました。反面、日本人の国内旅行に占める割合は全体のおよそ8割との調査結果もあります。

なお、本市においても、予防接種後に発症した症状について、副反応報告が出されている事例がありますので、市としても、慎重に対応する必要がありますが、国において、接種対象者へ正しく情報が伝わるよう、情報提供の方法等について協議が行われています。積極的な勧奨とならない範囲の中での周知、広報については、国における協議の進捗を注視

してまいります。その間、これまでの周知を継続し、ワクチン接種に関する市民からの問合せ等については、正しい情報を丁寧に説明してまいります。

プレミアム付商品券の発行について

2015年、新市施行10周年を記念して発行された商品券は、プレミアム率30%を乗せたことにより、地域経済を力強く支えることができた大変な評判でした。

が元気に飛び出して行けるよう、一刻も早くプレミアム付商品券の発行とともに、プレミアム付旅行券の発行ができるよう要望し、プレミアム付商品券導入への市の考えを伺います。

○環境経済部長
プレミアム付商品券については、一定期間における集中的な経済効果が期待できる事業の一つとして認識してまいす。実施に当たっては、今回の影響を考えると、単なる消費喚起だけでなく、客足が遠のいてしまった事業者に対して応援するものにする必要があります。市としては新型コロナウイルスの感染状況、国や県の動向を注視しつつ、プレミアム付商品券を含め、より有効な市内経済活性化策を検討してまいります。

避難所における感染症対策について

感染症防止には、「3密」を避けることが基本となります。しかし、過去の災害時には、避難所に入りきれないほど住民が避難してきたケースが少なくありません。このため、感染症発生時の避難所は過密を抑制するために避難先を分散させる必要性があります。そこで、春日部市の分散避難への体制整備はどのように考えているのか。また、その周知方法について伺います。

に備えていきたいと考えています。周知については、広報7月号に新型コロナウイルス禍で考える適切な避難方法などの記事を掲載予定ですが、また、ホームページや安心安全メールなども活用し、周知に努めてまいります。感染症が収束しない中で、災害発生を想定した訓練は必要と考え、現在調達を進めている感染症対策のための資材等が納品されたら、まずは避難所担当者向けの研修を実施し、その後自主防災組織等への訓練に組み入れていきたいと考えています。

○市長公室長
分散避難への体制整備ですが、今後避難所以外への分散避難を促し、避難所での過密を抑制していきたいと考えています。具体的には、自宅での安全確保ができる場合は在宅での避難を、在宅避難が難しい方は、安全が確保できる親戚や知人宅への避難や、現在協議を進めている大型商業施設等の立体駐車場を活用した車中泊等の検討をお願いし、感染症と自然災害の複合災害

○市長公室長
分散避難への体制整備ですが、今後避難所以外への分散避難を促し、避難所での過密を抑制していきたいと考えています。具体的には、自宅での安全確保ができる場合は在宅での避難を、在宅避難が難しい方は、安全が確保できる親戚や知人宅への避難や、現在協議を進めている大型商業施設等の立体駐車場を活用した車中泊等の検討をお願いし、感染症と自然災害の複合災害



間仕切りシステムの活用イメージ

NHKから 国民を守る党

酒谷 和秀

「#ハッシュタグ」 「春日部コロナアクション」 について

春日部市内の個人店・企業の皆さまを支援するプロジェクトである「#春日部コロナアクション」について、以下伺います。

①#(ハッシュタグ)の意味が理解しやすいように事業の概要②この事業が始まってから現在までの評価③この事業はSNS(主にツイッター・フェイスブック・インスタグラム)を利用して店舗情報を拡散するものだが、動画系のSNSとして発信力と拡散力に優れているユーザーを想定していないのはなぜか。

○環境経済部長

①この事業は、春日部駅東口商店会連合会の中の粕壁商店街NEXTプロジェクトメンバーが立ち上げたもので、テークアウトやデリバリー、手作りマスクなど、各個店が取り組むコロナ対策の情報をお店と住民の双方がSNSで発信して交流を活性化させることで、売上げの向上、感染防

止に関する情報を提供しようとするものです。

なお、頭の「#」はSNS上で情報を集約するためのタグで、キーワードの前に付けるとSNS上で瞬時に検索が可能となります。同じ「#」が付いた投稿はまとめて閲覧でき、利用者が必要な情報にアクセスしやすくなります。

②現時点で掲載店舗数が270を超え、閲覧数も2万件を超えるなど、お店の売上げ向上だけでなく、SNSを介してお店と住民の交流も盛んになっており、双方から好評をいただいています。

③情報を発信するお店の皆さまによると、日々の営業時間や日替わりテークアウトメニュー等、スピード感が必要な情報を発信するには写真投稿で十分であり、動画だと編集作業があつて大変といった意見がありました。



無所属

井上 英治

市民の心に響く 武漢ウイルス対応は何か

今回の禍は「新型」とか「コロナ」ではなく、「武漢ウイルス」禍と呼ぶべきと考えます。そこで、以下について伺います。

①これに対する市独自の対応は何かあったのか
②第2波に備えた、第1波の反省点は何があったのか
③医療センターの補正予算が出していないが心配なののか
④今後の対策として非接触型体温計の外來患者・来庁者への活用は行わないのか

○総合政策部長

①市の主な独自施策としては、市内事業者への支援、水道基本料金の4カ月間無料化、経済的に厳しい状況にある子育て世帯への支援金給付が挙げられます。このほか、医療従事者に感謝の気持ちを込めた古利根公園橋のブルーライトアップ、感謝のメッセージをのせた青色ステッカーを公用車に掲示、妊婦の方を対象にメッセージを添えたマスクの

配付、臨時休校中の児童の学習支援のために学習支援動画を作成して掲載するといったことを実施しました。

②現在実施している段階なので、反省点を議論するには時期尚早かと考えています。

○病院事務部長

③感染症対策の取組は既存の予算内で対応ができていますので、今後の補正予算については感染状況や必要とされる医療体制などを鑑みながら対応していきたいと考えています。

④現在メインエントランスの風除室に職員を配置し、患者さんの症状に応じて非接触型体温計で検温をしています。今後は患者さんが職員に声をかけやすいような工夫をしていきたいと考えています。



●感染拡大を防ぐために

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、感染が流行している地域への移動は控えましょう。どうしても外出する必要があるときは、マスクや清潔なタオル・ハンカチなどで口元を保護し、クラスター（集団）感染の起こりやすい3つの条件を満たす場所を避けましょう。



●熱中症にも注意しましょう

次の定例会は
8月24日(月)
午前10時
開会予定です

市議会ホームページ のご案内

市議会ホームページでは、議員名簿、会議日程、一般質問発言通告一覧などを掲載しています。

また、会議録の閲覧・検索や、インターネットによる本会議生中継・録画中継で、議会の様子をご覧いただけます。

スマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけます。



QRコード

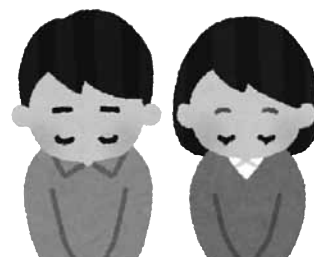
議会の本会議等の傍聴について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議会の本会議および委員会の傍聴につきましては、当面の間、できる限りお控えいただくよう、お願いすることといたしました。

本会議の審議の様子は、インターネット議会中継でご覧いただくことができますので、ご利用ください。

なお、傍聴される場合は、次の点にご協力いただきますようお願いいたします。

- ・マスクの着用
- ・手指消毒液の使用
(傍聴受付に用意しています)
- ・他の傍聴人との距離を空けて着席



閉会中の委員会活動

▽議会運営委員会

5月20日

・令和2年第1回(5月)臨時会の運営について

5月25日

・令和2年6月定例会の運営について

7月6日

・令和2年第2回(7月)臨時会の運営について

▽広報広聴委員会

6月26日

・議会だより第60号について

7月3日

・議会だより第60号について

6月26日

・令和2年度購入図書申し込みについて

編集後記

新型コロナウイルス対策を早急に進めるため、急ぎよ5月に臨時議会が開催されました。今年度の全議員の政務活動費をほぼ半減する条例を制定し、コロナ対策に充てるよう市に求める要望をしたほか、水道の基本料金を4カ月分無料にすることを含む、補正予算を成立させました。

定例の6月議会においても国の給付金支給に係る事務作業の進展や、市独自の支援事業、再開された小中学校での感染症と熱中症対策の両立など、コロナ対策に関する議論に多くの時間を費やしました。今年度は、マスクを着けながら過ごす夏ということで、例年以上に、体調管理に気を配ることが求められます。市民の皆さまにおかれましては、くれぐれもご自愛ください。最後に、この議会だよりを編集する広報広聴委員会のメンバーが新しくなりました。市政、また市議会での議論を少しでも分かりやすく市民の皆さまにお届けするよう委員一同、努めてまいりますので、よろしくお願いたします。



広報広聴委員会

(令和2年7月1日現在)

委員長 古沢 耕作

副委員長 坂巻 勝則

委員 酒谷 和秀

委員 榛野 博

委員 水沼日出夫

委員 今尾 安德

委員 永田 飛鳳

委員 木村 圭一

オプザーバー

議長 佐藤 一

副議長 鈴木 一利

〒344-8577

埼玉県春日部市中央六丁目2番地

春日部市議会

TEL 048-736-1111(代表)

内線3116

